

日本再生戦略

平成24年7月31日、

環境、医療、農林漁業を重点分野とし、2020年度までの平均で実質2%成長を目指す成長戦略を盛り込んだ「日本再生戦略」を閣議決定した。

て捻出する。

再生戦略では、新車販売に占める電気自動車など次世代自動車の比率を最大5割に高めることや、カロリーベースの食料自給率を50%に引き上げることなど、11分野の38施策で20年度の数値目標を列挙。15年度の中間目標を掲げた上で年度ごとの工程表も設け、進み具合を点検するとある。

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2012年8月6日(月) NO. 263

地域から明るい未来を作ろう

政府戦略の本身は「フロンティア国家」「共創の国」を掲げ、中間層の復活と地方分権・地域主権国家を推進と唄っている。失われた20年の背景を認識し、困難に対して世界に先例を示す目標を掲げていますが、認識だけで原因究明には程遠いものです。限られた資源(税金)がバラマキで利権の食

お盆休みは8月14日火・15日水

い物にされたこれまでの構図と、お上依存体質が見えて来るのであります。

農業の6次産業化は、生産から加工、流通までの業務展開を推進、エネルギー生産まで視野に入れるものとなっています。流れはT P P、農協の解体の方向です。

「ニューヨークの物理療法リハビリテーション研究所の受付の壁に掲げられている作者不詳の詩」です。

(1) 大きなことを成し遂げるために、力を与えてほしいと神に求めたのに、

慎重深く従順であるようにと、弱さを授かった。

(2) より偉大なことができるようにと、健康を求めたのに、

良い戦略とは単純かつ明快なものであるはずで、この日本再生戦略を見る限り現状を明確に分析されていると言い切れず、ビジョンの提起に終わっているように見えます。

いまデフレ脱却に何をすべきか明確に示されていないのです。危機の本質に全く迫っていない明らかに官僚に丸投げ書いただけの作文です。

日本の立ち位置、長期の方向性、世界的視点が決定的に欠けています。読んでも心の底に火がつか

人生を間違わないようにと、病弱を与えられた。

(3) 幸せになろうとして、富を求めたのに、賢明であるようにと、貧困を授かった。

人生の詩

(4) 世の人々の称賛を得ようとして、成功を求めたのに、神様の存在に自分が気付けるようにと、弱さを授かった。

ない、明かりが微かに見えて来ないので、問題解決能力を喪失した官僚の希望的観測を並べただけ。

それともシロアリの群れが甘い蜜に蠢いているからでしょう。

「武力」に変わる「財力」、財力に変わる「文化力」が次世代の戦略でしょう。

国民の資質、文化力が世界に誇る日本標準です。

(5) 人生を楽しもうと、たくさんものを求めたのに、あらゆることを楽しめる命を、自分はずでに授かっていただけに気付いた。

求めたものは何一つとして与えられなかったが、願いは全て聞き届けられた。

私はあらゆる人の中で、もっとも豊かに祝福されていたのだ。



米國無差別大量殺人・原爆の日